

インドネシアで大規模立体駐車装置が竣工 ～現地において立体駐車装置を拡販～

極東開発工業株式会社(本社:兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号 社長:布原 達也 特装車事業、環境事業、パーキング事業)は、インドネシアの現地法人(PT. Kyokuto Indomobil Distributor Indonesia :ジャカルタ市)を通じて受注しておりました大規模立体駐車装置が竣工いたしましたことをお知らせいたします。

当社およびグループ会社の極東開発パーキング株式会社(本社:兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号 社長:栗山 裕章)では、インドネシアにおけるモータリゼーションの拡大や、人口の増加に伴う都市部での駐車場不足の問題を解消すべく、2014年より立体駐車装置のデモ機を設置して現地の市場調査を進め、2017年にはジャカルタ市内に初号機を納入しております。

今回竣工した大規模立体駐車装置は、インドネシアの大手財閥企業であるサリムグループのビル管理会社であるPT. SERASI TUNGGAL MANDIRIより受注したもので、ジャカルタ市内の中心部である、独立記念塔(モナス)や国会議事堂近くに所在するオフィスビルのWisma Indocement(インドセメントビル)に建設された、4段式で合計76台の駐車可能な装置です。限られたスペースを最大限に活用するという立体駐車装置のメリットを発揮し、入居テナントの社用車や従業員の車両、来客車両の駐車場として利用される予定です。



インドネシア 大規模立体駐車装置 (Wisma Indocement)

なお、インドネシア市場向けの立体駐車装置は、地上設置多段式(2～4段)の3機種をラインナップしており、今後も現地において立体駐車装置の利便性を訴求することで拡販を図り、年間500パレット(パレット:車両を搭載する台)の納入を目指します。

極東開発グループでは、経営資源を積極的に海外事業に投入し、業績の拡大に一丸となって努めております。

インドネシアにおいても、立体駐車装置や特装車の展開を通じたインフラ整備の一助となることで、現地の社会に貢献してまいります。



設置場所周辺の様子

写真中央がジャカルタのメインストリートであるスディルマン通り(Jl.Sudirman)

写真右の白い建物が設置場所のインドセメントビル(Wisma Indocement)

<広報お問合せ先>

極東開発工業株式会社 総務部 総務課

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

電話 (0798) 66-1000 FAX (0798) 66-8156

ホームページアドレス <https://www.kyokuto.com/>